

# 令和4年度 道徳教育 全体計画

学校番号	51	岡谷東	高等学校	全 課程	普通 科
------	----	-----	------	------	------

学校教育目標
人間尊重の精神に徹し、自ら考える力と、創造的な知性、および実践力を養い、調和のとれた人間の育成を目指す。 『自主・自律の精神に徹する』 『真摯な態度で自己目標の実現に努める』
重点目標
1. 生徒一人ひとりが自己を見つめ、力を発揮できる学校づくり 2. 学ぶ楽しさを実感し進路の希望を実現できる学校づくり 3. いじめや体罰のない、安全・安心な学校づくり 4. 生徒の人権を尊重し、保護者・地域に信頼される学校づくり 5. 新たな社会に対応し、他者と共生していく姿勢を身につけることのできる学校づくり

道徳教育の重点目標
1. 高校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力と他者を思いやる心を身に付ける。 2. 地域と関わる活動を通して、集団の一員として、地域と社会の発展に貢献できる資質・能力を養う。 3. 自他の生命と人権を尊重する態度を涵養し、いじめやハラスメントの生じない、高い道徳性を育成する。 4. すべての生徒が安心して学校生活を営むことができ、多様な進路希望が実現可能な環境を整える。

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等
1年	学校生活で礼儀、凡事徹底を心がけ、岡谷東高校の生徒としての自覚と責任感を身につける。また、集団生活を送る中で、自己肯定感、寛容の心を養い、他者と共生していく態度を育成する。	授業や探究学習の中で自身の「ライフプラン」について考え、自ら探究していく中で社会に貢献しようとする態度を育てる。 ○「ひろがれわたし」 ○年度後半の文理選択	ホームルームや行事でのグループ活動を通じて、円滑な人間関係を築きながら、凡事徹底と能動的に行動する態度を身につける。 ○清掃活動 ○SNSの正しい利用法について	生徒会活動、部活動への積極的な関わりから、集団における自己の確立を目指し、他者を思いやり、協働する態度を養う。 ○部活動への加入推進 ○文化祭 ○委員会活動
2年	学校生活の様々な場面で、岡谷東高校の生徒としての自覚の下に、物事に積極的に関わる姿勢を育成する。また、自身の具体的な将来設計を行う中で、自律性や忍耐力を向上させる。	就職や進学に向けて人生を左右する決断を目前に控える中、生涯を見据えて自己の適性や能力を見極め、進路実現を果たせるよう学んでいく。 ○進路別科目選択 ○進路ガイダンス	おもに研修旅行（広島・関西）にかかわり、クラスやグループにおける様々な学習活動を通じて、平和、災害について身をもって深く学ぶ。 ○研修旅行事前・事後学習 ○多文化理解の学び	生徒会活動、部活動ともに中心的立場であることについて自覚を持ち、個と集団それぞれの目標の実現に向けて協働する態度を身につける。 ○部活動 ○生徒会の運営 ○文化祭
3年	自己実現の達成を目標に進路活動に取り組みとともに、学校生活のさまざまな場面において、社会人基礎力である「行動力」、「思考力」、「協働力」を育成する。	自身を理解し、自己肯定感を高めるとともに、他者の個性を理解し、尊重する姿勢を養う。 ○進路活動 ○各教科における探究的な学び	他者を思いやり、協働できる能力を養う。 ○人権学習 ○学校行事における協働	自律した一人の人間として行動し、協働の中に自らを表現するとともに、他者を活かす実践力を養う。 ○生徒会運営 ○部活動 ○ボランティア活動

各教科	
国語	筆者の主張や登場人物の心情に心を寄せる活動を通して自己を振り返り、客観的な視点を持ち、思いやりのある言動や表現できる生徒を育成する。
地理歴史	よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に探究していく中で、多面的・多角的な考察や深い理解による他者理解の姿勢を養う。
公民	持続可能な社会へ向けて地球規模の現代的諸課題等に向き合い、主体的に解決しようとする態度を育む。
数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な協働的活動の中で、諦めず考える態度や、互いの考え方の違いを理解・尊重する態度を養う。
理科	自然界の事象を探究する活動を通して、道徳的判断力や科学的真理を大切にしようとする態度を育成する。
保健体育	体育や保健の授業を通して、社会の中で大切な他人との関わり方を考え、人権を尊重した態度を養う。
芸術	教科芸術に期待される感性の陶冶により、真に豊かな生活、生涯について考え、それを構築していく態度と情懷を培う。
外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、異なるものの見方や考え方を認める姿勢や主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	生活の営みに係る授業や実験実習を通して、自立した人間として他者とともにより生きていこうとする態度と力を育成する。
情報	情報に関する知識や技術を身につけながら、情報モラルや知的財産権などの社会のルールを学び、情報社会で適切な行動をするための考え方や態度を養う。
総合的な探究の時間	主体的・協働的な取組を通して、自己理解、他者理解を深め、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

家庭・地域との連携	P T S 協議会や地区 P T A 懇談会等を通じて、保護者と地域の声を広く集めながら、地域社会との連携を深め信頼される学校づくりをめざす。
-----------	---